

きほく人奮闘記



鬼北町食生活改善推進協議会
たなか まさこ
田中 正子さん

平成30年6月12日、松山市のひめぎんホールで開催された「愛媛県食生活改善推進連絡協議会健康づくり推進大会」において、鬼北町食生活改善推進協議会近永支部の田中正子さん=近永=が、愛媛県会長表彰を受賞しました。

約15年前、息子家族との同居をきっかけに、各世代に合った料理のレパトリーを増やしたいとの思いから、当協議会に加入した田中さん。年に7回行われる料理教室では、「私たちの健康は私たちの手で」をモットーに、町の管理栄養士による指導を受けたり、自らが献立を考えて自主的に教室を開い

たりと、常に探究心を持って活動しています。

料理好きな人が多く集まる当協議会。お菓子作りが得意な人や和食料理が得意な人など、さまざまな分野に長けた会員が多く在籍しており、会員同士で知識の共有をしています。また、松山市出身の田中さんは、会員の皆さんから鬼北地域の伝統料理の作り方を教わったそうで、「この協議会で、尊敬できる人にたくさん出会えたことが何よりも嬉しい。そして、各支部の皆さんとも交流を深めることができ、この会に入って本当に良かった」と笑顔で話していました。

現在、当協議会では、家庭や地域においてバランスのとれた食事について学ぶとともに、時代の変化に伴う活動内容の充実を図ることを目標としています。田中さんは、「私たちは食に関する専門的なボランティア団体として、一層経験を積み、地域の信頼に応えることができれば嬉しく思う」と話していました。

また、田中さんは「この活動は人生の中で一番長く続けることができた活動。今後は、『何でも作れる鬼北のばあちゃん』と呼ばれるくらいに、得た知識を地域の皆さんに広めていきたい」と、優しく微笑みながらも、強い信念を持って意気込む姿がそこにありました。

鬼丸 ほんのぼの日記

作 梶形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口と 6/30現在

世帯数

人口	10,480人
男性	4,910人
女性	5,570人
世帯数	5,067世帯

※外国人住民を含みます。

編集後記
▼環境保全の大切さを知ってもらおうと、毎年、県内各地で実施されている「ふるさと水辺の生き物教室」。子どものみならず、大人たちも無我夢中で生き物を採集している姿が印象的でした。また、この日の講師であった愛媛大学の日鷹准教授の話の中に、「鬼北町は国内でも珍しく、外来生物がほとんど採れない地域」という話がありました。この日は採集できませんでしたが、「夕ガメなどの希少な生き物は鬼北町には住んでいない」という話に思わされてくれたのではないのでしょうか。▼この度の豪雨災害で被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を願っております。(悠)